

Advance

#「答」ではなく「問い」を見付ける

7年生では、プロジェクト型の授業に多く取り組んでいます。自律学習で、基礎的な知識や技能を着実に身につけていくことも大切ですが、SOLANでは「思考力・判断力・表現力」といった資質・能力の育成にも力を入れています。

教科の学びやプロジェクト、個人探究を通して、子どもたちがどのように成長していくことを目指しているのか——その姿について、保護者の皆さまとも一緒に考えていけたらと思っています。今回は、「答ではなく問いを見付ける」という話です。

最近は、自分で考えずにすぐに答えを欲しがる傾向にあります。なかには徹底的にパクってしまえばいいと平気で言う人もいますが、それは自分の力にならないし、答えをすぐ聞きたがるというのは子どもと同じですね。

日本人は総幼稚化している、と言った人がいますが、本当にその通りじゃないでしょうか。

自分で「なぜだろう」と考えないで、「だれだれ先生がこう言ったからそうなんだ」と言って、なんの疑問も持たない。

作家の〈ひろさちや〉さんが、中学の社会科で民主主義について「選挙をして多数決で決めていく社会だ」と勉強したとき「先生、 $2+2=4$ ですけど、多数決で $2+2=5$ だって決まったらどうするんですか」と先生に質問したそうです。

すると、先生から「多数が間違うわけがないからそういうことを気にしちゃいけない」と返ってきて衝撃的だったという思い出を語っていました。

その先生の言葉に従えば、極端な話〈みのもんだ〉さんが「 $2+2=5$ だよ」と言ったからそうなんだ、となってしまうわけです。

それは恐ろしいことだと思いませんか？だからそれぞれに問いを持つ必要があるのです。

テレビや新聞、雑誌はお金をもらって作っていますから、損得という「ものさし」が入っています。

だけど、我々は新聞社や雑誌社、テレビ局みたいに細かい情報を知っているわけではないので、それを信じるしかなくなってしまいます。

だからこそ問いを持たないとひどい目にあってしまうのです。

参考：「逆のものさし思考」

清水克衛：著（読書のすすめ、HSより）

今は、ネット検索で簡単に「答」が見つかる時代です。とても便利ですが、鵜呑みにするのは危険です。

「失敗のパターン」はあっても「必ず成功する方法」はありません。真似だけではうまくいかないことも多いです。でも、がっかりする必要はありませんよね。どんな時にも「ヒント」はあるはずです。だからこそ、「正解」を求めるよりも「問い」を大切に作る姿勢が、これからの時代を生きる上で大切だと感じています。

また、問いの立て方にも工夫があります。「なぜこうなんだろう？」と考えると、つい答えがネガティブな方向に向かいやすくなります。一方、「どうしたらもっと良くなるだろう？」「どうしたら相手に喜んでもらえるだろう？」と問いかけることで、前向きな発想が生まれやすくなります。

「どうしたらもっと便利になるのか？」と考えた多くの人の問いが、今の社会を形づくってきたのです。

今、流行りの生成AIも、正解を聞く便利な道具ではなく、「問いを見つける相棒」として活用できるといいですね。子どもたちが自分の問いを大切にできるよう、私たち大人も一緒に寄り添って、考え続けていきましょう。

We will value "Purpose" and "Ownership" for you

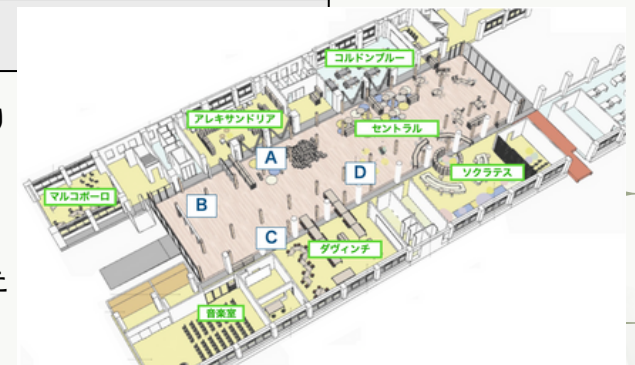
Advance

6月12日（木）5限、学習成果発表会【理科PBL】のお知らせ

時間	ブースA	ブースB	ブースC	ブースD
13:40～13:45	移動、発表準備			
13:45～13:55	酒井優音 「暗順応と明順応の比較」	水野綾乃 「花瓶の材質によって 花が保つ日にちは変わるのか」	前川幹太 「汚れが落ちにくいものは どんなものか」	津田樹希 「ろ過装置で菌を取り除く ことはできるのか」
13:55～13:58	評価、移動、発表準備			
13:58～14:08	下山実彩希、坪井咲弥 「人間の気持ちはどう 身体や行動に現れるのか」	加納桜子、武田芽衣紗、 平野凜々花 「人間関係で心拍数は変わるのか」	浅田大介、稲垣 蓮 「人の反応の速さは時間や 体の姿勢によって違うのか？」	—
14:08～14:10	評価、移動、発表準備			
14:10～14:20	小澤果穂、山内凜乃 「最強の学習環境を見つけよう！」	—	野村錬人 「コウモリは白か黒か？」	酒井信、蟹江蒼太、 加納桜子 「発酵と腐敗の違い」
14:20～14:25	評価、ふりかえり			

ポスターセッションの順番やタイトルにつきましては、現時点での予定となっております。当日に変更が生じる場合もございますこと、あらかじめご承知おきください。

また、当日は保護者の皆様からの温かい評価やフィードバックも頂戴できましたら、子どもたちの今後の学びの励みになります。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



We will value "Purpose" and "Ownership" for you